

企画展

# ミュシャと おとぎの国の 姫君たち

*Mucha and Princesses from the Land of Fairytales*

2022年8月6日（土）～2022年11月27日（日）

時に気高く、時に勇敢で、  
恋もする姫君たち。

- 〔 本展の 特徴 〕
- ① 1900年パリ万博の壁画の全貌が展示室によみがえります！  
ミュシャが描いたボスニアの歴史物語を貴重な下絵を中心に再現します。
  - ② 子どもから大人まで楽しめる展示とプログラムを展開します。  
子どもたちの初めてのアート鑑賞のきっかけとしてもおすすめ。
  - ③ ミュシャが手掛けた冒険と悲恋の物語『トリポリの姫君イルゼ』を一挙公開。  
神秘的で美しい挿絵の世界を堪能できます。

展覧会名	企画展「ミュシャとおとぎの国の姫君たち」
会期	前期：2022年8月6日(土)から2022年10月2日(日)まで 後期：2022年10月6日(木)から2022年11月27日(日)まで
会場	堺 アルフォンス・ミュシャ館（堺市立文化館）
開館時間	午前9時30分から午後5時15分(入館は午後4時30分まで)
休館日	月曜日（休日の場合は開館）、休日の翌日（8月12日、9月20日、10月11日、11月4日、11月24日）、展示替臨時休館日（10月4日・5日）
観覧料	一般510円(410円)、高校・大学生310円(250円)、小・中学生100円(80円) *( )は20人以上100人未満の団体料金
主催	公益財団法人堺市文化振興財団、堺 アルフォンス・ミュシャ館
後援	在堺チェコ共和国名誉領事館、堺市教育委員会
協力	OGATAコレクション

お問合せ 堺 アルフォンス・ミュシャ館（堺市立文化館） 担当：原田、高原、川口  
〒590-0014 大阪府堺市堺区田出井町1-2-200 ベルマージュ堺式番館  
TEL) 072-222-7227 FAX) 072-222-6116  
E-mail) mucha@sakai-bunshin.com <https://mucha.sakai-bunshin.com>

HP▶



## 展示概要

時に気高く、時に勇敢で、切ない恋もする姫君たち。本の中で活躍する彼女らキャラクターの魅力がミュシャは平面的な装飾効果と、登場人物たちの心情にせまるような写実的な人物描写によって表現していることに気づきます。

またミュシャのキャラクターイメージは本の世界にとどまりません。歴史画への憧れをもっていたミュシャは、壁画や油彩画でも神話や伝説、物語のワンシーンの表現を試みています。さらにミュシャを有名にした舞台ポスターでは、主役のキャラクターに主演女優の個性までも表現しています。

本展では、ミュシャが描いた作品から物語とその人物像に注目。それぞれの物語世界と登場人物たちのキャラクターイメージに迫りながら、ミュシャがどのように表現し、読者や観る者に伝えたのかを探ります。展示室にはパリ万博のボスニア・ヘルツェゴビナ館の巨大な壁画の再現や登場人物の気持ちを体験するような空間を設え、それぞれの作品制作にまつわるミュシャの物語も紹介します。

同時開催  
シリーズ展

ミュシャを実験的なまなざしで紹介する年間シリーズ展「ミュシャLabo」

## ミュシャ Labo #02 「色+線」

ミュシャを実験的なまなざしで紹介する年間シリーズ展示〈ミュシャLabo〉。第2弾のテーマは「ミュシャの色と線」。淡く上品な色彩と評されたミュシャの色彩を大解剖！ミュシャの作品から色を探して、色を作ってみたり、色合わせをしたり、ミュシャカラーを探ります。

さらに、輪郭線をはじめ、印象的なミュシャの線。ミュシャの作品から線がなくなったら？1つの作品に何種類の線がある？と来館者も参加型のミュシャLaboを展開します。

関連  
イベント

## ①ワークショップ MY MUCHA MUSEUM (わたしだけの小さなミュシャ館) (仮)

飛び出すカードの中に、好きなミュシャの作品を配置して自分だけのミュージアムを作ります。

日時：2022年8月28日(日) 11:00～

定員：親子15組30名(申込先着順、7月21日(木) 10:00より受付開始)

参加費：300円(要観覧料)

## ②映画上映『シラノ・ド・ベルジュラックに会いたい!』(字幕)

19世紀末のパリが舞台！サラ・ベルナルルゆかりの詩人で劇作家のエドモン・ロスタンと彼をとりまく仲間たちがおこした奇せきの物語。

日時：2022年9月17日(土) ①10:30～②14:00～

定員：40名(申込先着順、7月21日(木) 10:00より受付開始)

参加費：300円(要観覧料)

## ③「ミュシャのげいじゅツアー」(子ども向けギャラリートーク)

学芸員といっしょに展示室をめぐる。おうちの人と一緒に参加できるよ。

日時：各月2回程度開催予定(詳細はHPにて告知)

時間：11:00～(40分程度)

参加費：無料(要観覧料)

※申込不要

〈イベント申込み方法〉

参加希望者名(フリガナ要)・年齢・人数(付添の人数も)・住所・電話番号・イベント名・日付を明記して、FAXまたはメール(mucho@sakai-bunshin.com)にて、堺アルフォンス・ミュシャ館までお申込みください。※電話でのお申込み不可。

※本展に関連するイベントは、新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、状況により中止または延期にする可能性があります。



〔 広報用 〕 以下の広報用画像および本展ポスター・チラシ（表）画像を、プレス掲載用にご用意しました。FAXまたはメールでお申込みください。

○FAXでのお申込み

次ページの<画像利用申込書>をご記入の上お送りください。

○メールでのお申込み（メール：much@sakai-bunshin.com）

上記アドレスにご連絡下さい。追って、申込フォームを返信いたします。

[使用条件]

- \*画像データの使用用途は、本展の紹介に限ります。二次使用は禁止いたします。
- \*掲載にあたっては各作品のキャプションとクレジットをご明記ください。
- \*トリミングや文字載せ等の加工はご遠慮ください。
- \*掲載誌（紙）を2部、当館へご惠贈ください。

1



アルフォンス・ミュシャ  
《ヒヤシンス姫》

2



アルフォンス・ミュシャ  
《1900年パリ万博博覧会 ボスニア・ヘルツェゴヴィナ館壁画〈下絵〉》

4



アルフォンス・ミュシャ  
《『トリポリの姫君イルゼ』（仏語版）》

5



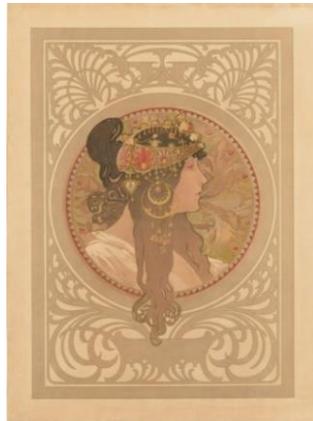
アルフォンス・ミュシャ  
《書籍『おばあさんたちの物語』挿絵〈下絵〉》

3



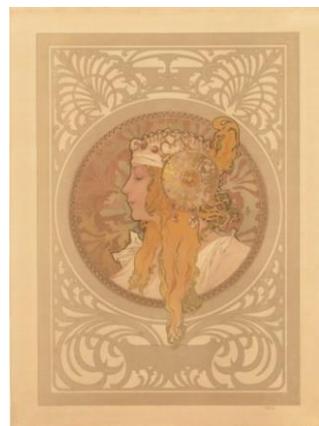
アルフォンス・ミュシャ  
《サロメ》

7



アルフォンス・ミュシャ  
《ブルネット:ビサンティン風の頭部》

8



アルフォンス・ミュシャ  
《ブロード:ビサンティン風の頭部》

6



アルフォンス・ミュシャ  
《女占い師》



## 画像利用申込書

FAX 072-222-6116

〔 利用情報 〕

お申込み日	年	月	日
会社名			
部署名			
お名前			
メールアドレス	@		
電話番号		FAX番号	
住所	〒		

〔 画像利用  
について 〕

画像到着希望日	年	月	日
画像の利用目的			
媒体名			
媒体種別	新聞 ・ 雑誌 ・ その他 ( )		
公開予定日	年	月	日
掲載誌 (紙) の ご恵贈 (2部)	年	月	日 頃予定

〔 利用希望  
画像 〕

○印	画像番号/作品名 (ご明記いただくキャプション)
1	アルフォンス・ミュシャ 《ヒヤシンス姫》 1911年 リトグラフ、紙 堺 アルフォンス・ミュシャ館 (堺市) 蔵
2	アルフォンス・ミュシャ 《1900年パリ万博博覧会 ボスニア・ヘルツェゴ ヴィナ館壁画〈下絵〉》 1899年-1900年 墨、紙 堺 アルフォンス・ミュシャ館 (堺市) 蔵
3	アルフォンス・ミュシャ 《レストンプ・モデルヌ サロメ》 1897年 リトグラフ、紙 OGATAコレクション蔵
4	アルフォンス・ミュシャ 《『トリボリの姫君イルゼ』 (伝語版)》 1897年 リトグラフ、紙 (書籍) 堺 アルフォンス・ミュシャ館 (堺市) 蔵
5	アルフォンス・ミュシャ 《書籍『おばあさんたちの物語』挿絵〈下絵〉》 1892年頃 墨、水彩、紙 堺 アルフォンス・ミュシャ館 (堺市) 蔵
6	アルフォンス・ミュシャ 《女占い師》 1917年 油絵、カンヴァス 堺 アルフォンス・ミュシャ館 (堺市) 蔵
7	アルフォンス・ミュシャ 《ブルネット:ビサンティン風の頭部》 1897年 リトグラフ、紙 堺 アルフォンス・ミュシャ館 (堺市) 蔵
8	アルフォンス・ミュシャ 《ブロンド:ビサンティン風の頭部》 1897年 リトグラフ、紙 堺 アルフォンス・ミュシャ館 (堺市) 蔵
	本展ポスター・チラシ画像 (1ページ目掲載の画像)

